



各位

平成20年2月8日

会社名 日本電子材料株式会社

代表者の

役職名 代表取締役社長 坂根 英生

(コード番号 6855 東証1部)

問い合わせ先 取締役 管理部門統括部長 厚地 義尚

電話 06(6482)2007

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月7日の第1四半期決算発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせします。

記

1. 平成20年3月期連結業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,110	1,420	1,460	730	68.93
今回修正予想 (B)	14,110	1,090	1,160	260	24.55
増減額 (B - A)	-	330	300	470	-
増減率 (%)	-	23.2	20.5	64.4	-
(ご参考) 前期実績(19年3月期)	16,216	2,830	2,843	1,765	166.70

2. 平成20年3月期個別業績予想値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	890	1,200	780	73.65
今回修正予想 (B)	12,000	890	1,200	80	7.55
増減額 (B - A)	-	-	-	700	-
増減率 (%)	-	-	-	89.7	-
(ご参考) 前期実績(19年3月期)	14,235	1,952	2,153	1,411	133.27

3. 修正理由

(1) 連結業績予想の利益面の修正理由

当社グループでは、MEMS技術を用いたプローブカード「Mタイプ」の事業化を進めており、昨年4月にMタイプ用プローブユニットの開発・製造を担う連結子会社JEMファインテック株式会社を設立し、Mタイプの事業化のために人的および設備等の投資、資金の貸与などを通じて積極的にMタイプの事業化を推進してまいりました。

その結果、昨年末には最先端LCD-Dr（液晶駆動用ドライバー）向けのMタイププローブカード（MAシリーズ）の受注を獲得することができましたが、現在開発中のメモリーIC向けMタイプ（MCシリーズ）の開発負担が増加する予定であることや、MAシリーズの市場投入時期が計画よりずれ込んだこと等により、JEMファインテック株式会社における損益が計画より悪化すること等が見込まれるため連結業績予想の利益面を修正いたしました。

(2) 個別業績予想の当期純利益の修正理由

JEMファインテック株式会社が、開発中のメモリーIC向けMタイプ（MCシリーズ）の開発負担が増加する予定であることや、MAシリーズの市場投入時期が計画よりずれ込んだことから、同社への債権について早期かつ保守的な考え方で、同社の貸倒引当金（約5億円）の計上、並びに株式などの減損処理に加えて、繰延税金資産の再計算による取り崩し等を計上する予定のため個別業績予想の当期純利益を修正いたしました。

今後もMタイププローブカードの事業化への投資を積極的に続け、MAシリーズの拡販により次年度以降のJEMファインテック株式会社の黒字化に取り組むと共に、MCシリーズの早期市場投入を目指してまいります。

なお、配当につきましては、年間1株当たり20円で、今期末配当は1株当たり10円の予定を変更しておりません。

以 上

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。